



公営企業会計

民間企業と同じように、サービスの提供で収入を得て、その収入で支出を賄う会計です。水道・下水道・病院の3つの企業会計があります。

病院事業

収益的収支	収入	69億3,896万円
	支出	64億2,779万円

資本的収支	収入	10億7,417万円
	支出	15億4,297万円

内部留保資金残高 7億3,801万円

- 市民病院入院患者数 … 4万5,116人 前年度比 5,809人増。
- 市民病院外来患者数 … 14万4,625人 前年度比 1万4,323人増。
- 泉郷診療所外来患者数 … 690人 前年度比 13人増。
- 支笏湖診療所外来患者数 … 651人 前年度比 47人減。

《内部留保資金残高》とは
内部留保資金は、過去からの利益（黒字）の蓄積によって生じた資金で、事業運営に必要な運転資金になります。

下水道事業

収益的収支	収入	34億9,130万円
	支出	33億6,832万円

資本的収支	収入	3億6,359万円
	支出	13億5,489万円

内部留保資金残高 24億3,566万円

- 排水戸数 … 4万3,531戸 市が下水道の処理を行う区域の戸数。前年度比 377戸増。
- 総処理水量 … 1,929万2,489m³ 処理した下水の総水量。前年度比 6.10%増。
- 有収水量 … 1,409万3,463m³ 総処理水量のうち、下水道使用料収入が得られる水量。前年度比 0.22%増。
- 有収率 … 73.05% 総処理水量に占める有収水量の比率。高いほど良好な状況を示す指標。前年度比 4.29ポイント減。

水道事業

収益的収支	収入	23億4,530万円
	支出	22億2,746万円

資本的収支	収入	3億5,925万円
	支出	10億5,532万円

内部留保資金残高 10億7,566万円

- 給水戸数 … 4万4,337戸 市が水道水を供給している戸数。前年度比 372戸増。
- 総配水量 … 1,209万5,947m³ 飲料水として浄水場から送り出された総水量。前年度比 0.09%減。
- 有収水量 … 1,163万2,523m³ 総配水量のうち、水道料金収入が得られる水量。前年度比 0.38%減。
- 有収率 … 96.17% 総配水量に占める有収水量の比率。高いほど良好な状況を示す指標。前年度比 0.28ポイント減。

《収益的収支》
1年間の事業活動で得られる収益と費用を損益計算の形で表すもの。

《資本的収支》
1年間に支出した施設の建設経費（借入金返済を含む）と財源収入。

一般会計

福祉や教育、消防など市が行う行政運営の基本的な経費を経理する会計です。

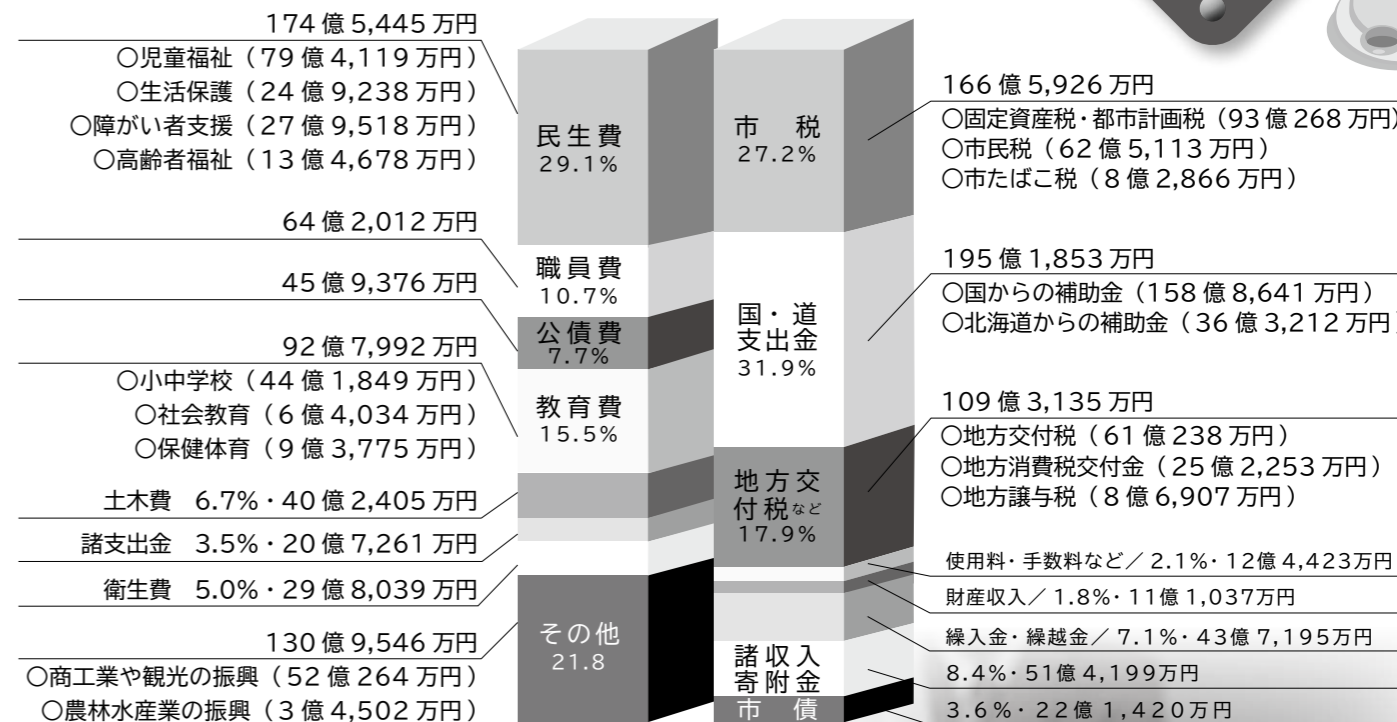
歳出決算

599億2,076万円

歳入決算

611億9,188万円

※ 内訳には、主な項目を掲載しています。



特別会計

保険料など特定の収入を財源に特定の事業を行い、一般会計とは別に経理する会計です。6つの会計ごとに事業をやりくりしています。

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険（国民健康保険事業を運営するための会計）	75億6,973万円	75億6,683万円	290万円
土地取得事業（公共施設用地をあらかじめ取得するための会計）	1億3,601万円	1億3,556万円	45万円
公設地方卸売市場事業（公設地方卸売市場を運営するための会計）	4,931万円	4,915万円	16万円
霊園事業（霊園の用地取得や管理運営のための会計）	2,148万円	2,137万円	11万円
介護保険事業（介護保険事業を運営するための会計）	55億6,297万円	54億5,638万円	1億659万円
後期高齢者医療（後期高齢者の医療保険制度のための会計）	11億7,411万円	11億7,301万円	110万円
合計	145億1,361万円	144億230万円	1億1,131万円

財政健全度を判断する指標

- 平成20年から《財政健全化法》により、全国の地方公共団体は、毎年度、財政の健全度を判断する指標を算定し、公表しています。
- 5つの指標のうち、1つでも市の比率が国の基準比率を超えた場合、計画的な健全化・再生が義務づけられます。
- 早期健全化の基準を超えると、《財政健全化団体（破綻の一步手前）》に、財政再生の基準を超えると、《財政再生団体（破綻）》となります。

指標	市の比率	国の基準比率	
		早期健全化	財政再生
健全化判断比率 実質赤字比率 公営企業を除いた赤字状況を表すもの	黒字決算	12.05%	20.0%
連結実質赤字比率 会計を合算した全体の赤字状況を表すもの	黒字決算	17.05%	30.0%
実質公債費比率 1年間の収入に対する借入金返済額の割合を表すもの	7.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率 将来負担する借入金に対する返済能力を表すもの	0.4%	350.0%	
資金不足比率 公営企業の経営状況の深刻度を表すもの	該当なし	20.0%	

市の財政に関する詳細は
総務部 財政課 財政係
☎(24)0541 ☎(22)8854

●令和3年度の決算状況は、すべての指標において、健全な水準にあるといえます。市は、引き続き健全な財政運営を進めます。

ちとせスーパープレミアム
付商品券 2021 発行事業

3億2,046万円

みどり台小学校建設事業

26億2,169万円

R3年度
主要事業
プレイバック

子育て世帯への臨時特別給付事業

16億7,690万円

みどり台地区児童センター整備事業

2億1,835万円

まちの借金
R4.3.31 現在
市が一度に多額のお金を必要とする事業に認められる《市債》です。道路や学校の建設や、災害復旧などに限られています。

市債の状況

一般会計の借入	328億4,245万円
特別会計の借入	2,360万円
公営企業会計の借入	202億4,311万円
合計	531億916万円

まちの財産

R4.3.31 現在

土地・建物

《普通財産》のほか、市が使用する《公用財産》、市民が使用する《公共用財産》とに区分します。

財産区分	土地	建物
行政財産	1,279万2,987m ²	47万4,885m ²
公用財産	189万8,777m ²	5万5,858m ²
公共用財産	1,089万4,210m ²	41万9,027m ²
普通財産	419万9,109m ²	1万2,123m ²
合計	1,699万2,096m ²	48万7,008m ²

有価証券

35億2,855万円

出資による権利（団体への資本金）

2億1,519万円

基金（事業資金の積み立てなど/全20基金）

199億5,092万円
○財政調整基金 ○農業振興基金 ○奨学基金 ○公共施設整備基金 ○国民健康保険事業財政調整基金 ○土地開発基金 ○みんなの、ひと・まちづくり基金 ○減債基金 ○地域福祉振興基金 ○霊園管理基金 ○ふるさと千歳国際交流基金 ○職員退職手当基金 ○介護保険事業給付費準備基金 ○特定地域振興基金 ○心のふるさと千歳基金 ○特定防衛施設周辺整備調整交付金基金 ○公立千歳科学技術大学施設整備基金 ○森林環境基金 ○空港を核としたまちづくり基金 ○教育情報機器整備基金